

## 「運動部活動地域展開シンポジウム」

### ～ 対話から見つける地域スポーツの仕組みづくり ～

2月15日(日)ホテルメトロポリタン高崎を会場にして、シンポジウムを開催しました。全国各地からの参加者を交え、テーマである「対話」を中心にしたプログラムを実施し、参加者から大変好評となりました。

会場には平田群馬県教育長をはじめ群馬県議会議員の皆さんも参加していただき、「群馬県として部活動地域展開に対して本気で取り組んでいる」姿勢を示しました。

ただ、とても残念だったことは県内関係者の参加者が少なかったことです。県総括コーディネーターとして、この状況を大きな課題と認識し、令和8年度から始まる改革実行期間を迎える必要があると痛感しました。総括コーディネーターとして、参加していない市町村の関係者(特に、過去一度も国の実証事業などに参加していない市町村)からヒアリングを実施して「どのようにしたら一緒に取り組んでいただけるのか」をご教示いただきたいと考えています。参加していなかった市町村のみなさん、後日ヒアリングをさせていただくのでご協力をお願いいたします。



上毛新聞

左の写真：会場には全国各地の参加者含めて80人が参集しました  
右の写真：小林指導主事から群馬県の現状 今後の取組を報告

2月16日付  
上毛新聞記事  
記者は朝から終了  
まで取材してくれ  
ました

### 全国各地のシンポジウムで唯一の「生徒・保護者の声を聴きたい」セッション

実施事業に参加している前橋市、渋川市、吉岡町、榛東村から、6人の中学生が参加しました。保護者は、渋川市、榛東村、吉岡町、玉村町、高崎市から10人が参加し、生徒・保護者ともに真剣に議論していただきました。

中学生の部については、会場の雰囲気中学生達緊張してしまうことを想定し、ファシリテーターをNPO法人新町スポーツクラブの若手指導者(スポーツ少年団リーダー経験者)の高橋愛花さんと斎藤耀平さんに務めていただき、アイスブレイクで緊張をほぐしながら、中学生たちの意見を引き出していただきました。

保護者の部のファシリテーターは、小出が務めました。

中学生の部と保護者の部の議論の結果、「望ましい未来の地域クラブ活動」についての共通項目は、「**複数種目ができる環境**」であったことは新しい発見となりました。また、保護者の部では「指導者の質」、「財源確保」、「会費設定」について課題となりました。スポーツ庁の関係者も平田県教育長も含め、参加者が、直接、中学生達と保護者から意見を聞く貴重な機会となりました。多くの参加者から高い評価をいただいています。

なお、このセッションの詳細は裏面を参照してください。

## 【中学生がKJ法でまとめた意見】

参加していただいた6人の中学生(前橋市・渋川市各2人、吉岡町・榛東村各1人)

「中学生が望んでいる未来の地域クラブ活動」について、NPO法人新町スポーツクラブ指導者(スポーツ少年団リーダー経験者)の斎藤さんと高橋さんが、ファシリテーターとなり、KJ法を用いて議論しました。

### 中学生が望む「未来の地域クラブ活動」ベスト3

- ① 中学生が主体的に行うことができる活動
- ② クラブで活動していても学校で認めてもらって表彰される活動
- ③ 複数種目ができる活動



## 【保護者の意見】

### (1) 部活動改革について知りたいこと

- ① 中体連は今後どのようなになるのか
- ② 今後の財源はあるのか
- ③ 教員と地域指導者、  
もしくは地域の調整は誰がするのか
- ④ 指導者は誰が見つけてくるのか
- ⑤ 認定クラブとはなんですか
- ⑥ 平日の指導ができる体制にする方法は
- ⑦ 地域に受け皿がない場合、どのように組織するのか
- ⑧ レベルが違う生徒が混在する場合、どのように活動するのか
- ⑨ 地域クラブ化の際の参加費設定はどのように進めたら良いのか



### (2) 保護者が望む「地域クラブ活動とは」のベスト3

- ① 子ども達が自主的に活動できる活動
- ② 質が高い指導者がいて安心安全な地域クラブ
- ③ 複数種目が体験できる活動

## まとめ

中学生と保護者の望んでいる未来の地域クラブ活動として、「中学生が主体的に活動できる」、「複数種目ができる活動」が共通した意見でした。

こうした当事者の意見を踏まえた未来の地域クラブ活動を目指しましょう